

教員採用選考審査の変更点について

教 職 員 課

- 1 高等学校英語教員採用審査において「英検等の資格取得者」に対する加点制度を導入する。

【実施内容】

英検1級・準1級（TOEFL, TOEIC等の相当資格も含む）の資格取得者には、その資格の程度によって、一次審査の総合点に一定の点数を加点する。

【目的と今後の方針】

- 1 グローバル人材の育成を目指して、高い英語能力を有する教員を採用するため。
- 2 来年度実施する平成26年度採用審査より、英検等の有資格者に対する加点制度を導入し、受審者に英検等の資格取得を促していく。
- 3 資格取得率を検討しながら、数年後には、資格取得を前提とした選考審査を実施する予定である。

【参考】

文部科学省は、英語教員の採用にあたって、外部検定試験の一定のスコアの所持等、英語によるコミュニケーション能力を考慮した採用選考の実施に努めることを求めている。

2 スポーツ特別選考に「国際大会レベルの実績を有する者を対象とした新たな区分」を新設する。

(現行) 「スポーツ特別選考⑤」

40歳未満の者であって、スポーツの分野において、高等学校卒業後、日本選手権大会又はこれに準ずる全国大会レベルの大会において優秀な成績を収め、中学校教諭又は高等学校教諭の保健体育を志願する者は、第1次審査の筆記審査(専門)を免除する。

※優秀な成績を収めた者とは、個人種目で8位以内に入賞した者、又は団体種目で4位以内で、かつ、その大会に選手として登録されていた者とする。

(新設)

40歳未満の者であって、スポーツの分野において、高等学校卒業後で、かつ過去5年以内に、国際レベルの大会(オリンピック大会・アジア大会・世界選手権大会等)において日本代表として出場、又は日本選手権大会やこれに準ずる全国レベルの大会において優勝・準優勝した者で、今後も現役選手として活躍ができる者は、第1次審査を免除する。

ただし、学生大会、及びジュニア選手権等の参加年齢制限を加えた大会を除く。また、団体種目の場合は、その大会に選手として登録されていた者とする。

【目的】

国際大会レベルの実績を有する優秀な競技者で、かつ高い指導力を兼ね備えた教員による、より実践的で専門性の高い競技指導を実現し、本県の中高生のスポーツ競技力向上を図る。